

へいじろう

HEIJIRŌ



2019 冬
平成 31 年 2 月 1 日
第 48 号



回復期リハビリ病棟の患者様の作品

もくじ

-  P1 市民公開講座 脳卒中对策講演会
-  P2 秋のミニ音楽会／クリスマスお遊戯会
-  P3 ~ 4 食物アレルギーについて
-  P5 新入職員紹介／永年勤続者表彰／県下一周駅伝に出場します
-  P6 外来診療表
-  P7 第3回 医療安全推進に関する川柳

市民公開講座 脳卒中対策講演会

皆で学ぼう! 備えよう! 脳卒中



また吉本先生からは、実際に脳卒中と呼ばれる病気の解説や治療の方法について詳しく教えていただき、さらに脳卒中についての知識を知ることができました。

田上先生より脳卒中の原因となる高血圧について実際に種子島の統計も踏まえてお酒はどれくらいまで大丈夫? 血圧はいつ測るのがいいの? 等分かりやすく講話されました。

脳卒中に関連する講演では、熊毛地区医師会長の田上寛容先生より「脳卒中の予防について」、そして鹿児島大学大学院歯科学総合研究脳神経外科学教授の吉本幸司先生をお招きし、「脳卒中とその治療」についてご講演して頂きました。

平成30年11月25日(日)に西之表市民会館にて市民公開講座脳卒中対策講演会「みんな学ぼう! 備えよう! 脳卒中」が開催されました。鹿児島県は脳卒中による死亡率が全国平均の1.4倍、全国ワースト10位と高く、要介護の主な要因となるなど、重要な健康課題となっています。今回は、脳卒中に関する正しい知識と理解を深め、地域全体で対策に取り組むために、開催されました。



吉本 幸司先生



田上 寛容先生

種子島医療センター体操では、会場の皆様も笑顔で取り組んでおり、私達も充実した時間を過ごすことができました。簡単な体操のため、今後も島民の皆様にも取り組んでいただくと嬉しいです。

今回の講演では脳卒中の怖さを改めて実感することができました。これからの生活も元気に長生きできるように、日々の生活を見直し、これからの生活をどのように過ごすのか考える機会になりました。

(リハビリテーション室
門脇淳一、馬場健大)



平成30年度 脳卒中対策講演会
～みんな学ぼう! 備えよう! 脳卒中～

【日時】
平成30年11月25日(日)
受付: 午後0時30分～1時00分
講演会: 午後1時00分～4時00分

【会場】
西之表市民会館ホール
(西之表市西之表 7600)
(0997-22-1116)

入場無料! **どなたでもご参加いただけます。**

プログラム

① 開会	13:00
② 挨拶	13:00～13:05
③ 講話「鹿児島県の現状と脳卒中予防対策について」 【講師】鹿児島県くらし保健福祉健康推進課長 岩船洋一 氏	13:05～13:25
④ 体験・リハビリ体験 【講師】種子島医療センターリハビリ室	13:25～13:45
⑤ 講演 【講師】種子島医療センター院長 高尾輝成 氏 ・講演1「脳卒中の予防について」 【講師】熊毛地区医師会長 田上寛容 氏 ・講演2「脳卒中とその治療」 【講師】鹿児島大学大学院歯科学総合研究脳神経外科学教授 吉本幸司 氏	13:45～16:00
⑥ 閉会	16:00

【主催】熊毛支庁保健福祉環境部健康企画課(西之表保健所)
【共催】熊毛地区医師会 種子島医療センター 西之表市 中種子町 南種子町 屋久島町
熊毛支庁健康企画課(西之表保健所) 健康推進係
※お問い合わせ先 熊毛支庁健康企画課(西之表保健所) 健康推進係
〒891-3192 西之表市西之表 7580 電話: 0997-22-0012

緩和ケア委員会

秋のミニ音楽会

平成30年10月27日(土)に開催されました！



当院の緩和ケア委員会では月に一度、がん患者様を対象にサロンを開催しており、毎回異なるテーマでイベントが行われています。

今回は、芸術の秋ということでミニ音楽会を開催しました。当院の職員も所属している種子島ウインドアンサンブルのメンバーが、金管楽器・木管楽器に分かれ、演奏を行いました。

当日はがん患者様だけでなく、入院患者様やそのご家族、一般の方にもご参加していただき、楽しい時間を過ごすことができました。

(リハビリテーション室
田上めぐみ)

演奏ナンバー
金管楽器より
「ヤングマン」
「わが人生に涙あり」
木管楽器より
「can you celebrate」
「糸」「愛燦々」



院内保育所より

クリスマスお遊戯会

平成30年12月7日(金)に開催されました！



0〜3歳の子どもたちによるお遊戯は、元氣いっぱい、とても楽しい時間となりました。子どもたちもお遊戯会に向けて一生懸命に練習してきた成果を発揮することができました。途中で大勢の患者様を前に、泣き出してしまいう子もいましたが、かわいい笑顔と衣装で精一杯頑張りました。患者様も入院生活の中で笑顔いっぱい楽しい時間を過ごすことができましたと思います。

(院内保育所 大木鈴香)



小児科 中村達郎先生より

食物アレルギーについて

即時型反応の食物アレルギーの症状とは？

基本的に原因の食べ物を**食べてから2時間以内**に以下の症状が出ます。

皮膚症状 (90%)	かゆみを伴う赤いブツブツ (蕁麻疹)
呼吸器症状 (30%)	咳、鼻汁、ゼーゼー、苦しそうな呼吸
粘膜症状 (30%)	唇や眼などが腫れる
消化器症状 (20%)	腹痛、嘔吐・下痢、のどのかゆみ
ショック (10%)	顔色が悪い、ぐったりして動かない

2つ以上の臓器症状が急速に出る (アナフィラキシー)
+ 血圧低下があれば
アナフィラキシーショック



※命に関わる緊急事態！！
すぐに受診が必要！



食物アレルギーとは

本来、細菌やウイルスなどの外敵を攻撃するために働くはずの免疫が、食べ物を「敵だ！」と間違えて認識してしまうことで起こる、体に悪い反応のことを言います。

原因となる食べ物

乳児期は卵、小麦、乳が代表的な食物アレルギーの原因物質 (アレルゲン) です。食品の種類、あるいは加熱や加工の有無などで症状が異なることがあります。
学童期から増えてくるエビ・カニなどの食物アレルギーは治りにくいことが知られています。

診断されたらどうするの

- ▼ 完全除去：小児で食物アレルギーと診断された場合の対応
- ▼ 部分除去：原因になった食品を一旦全く食べないようにする
- ▼ 部分除去：今まで食べられていた範囲までは食べる

食物アレルギーの基本的な方針は『必要最低限の除去』です。原因の食品や起きた症状、経過によって対応は異なりますが、完全除去をしている場合、時期を見計らって食物経口負荷試験を行うことが推奨されています。



食物経口負荷試験とは

アレルギーの原因となっている食物を食べて、アレルギー症状が出るかを確認する検査です。アレルギーが実際にあるのかを確認するために行う場合もあります。これを行うことで、アレルギーが治ってきているのか、どこまでなら安全に食べることができるかを確認することができ、『必要最低限の除去』が可能になります。

試す食品やその量によっては強いアレルギー反応を起こすことがあります。十分に安全性に注意をして行う必要のある検査です。そのため、不測の事態に対応できるように、病院で負荷試験を行い、負荷試験で安全に食べられた量を上限に自宅でも食べてもらうように指導します。

初めてのものを与えるときの原則

- ① 体調がよい時に
- ② 新鮮なものを
- ③ 十分に加熱して
- ④ 少量から与える
- ⑤ 平日の日中が望ましい



例外はありますが、不用意に完全除去を続けることは、低身長や体重増加不良の原因となったり、耐性化（アレルギーの治り）を遅くしたり、お子さんの正常な発達・発育の妨げになる可能性があります。おすすめてできません。

完全除去をしている場合、遅くとも2歳台までに経口負荷試験を行うことが勧められています。

食物アレルギーの発症予防の可能性

湿疹をしっかりと治療することで食物アレルギーの発症を抑えられる可能性があります。赤く湿疹になっているところは、皮膚のバリアが壊れており、そこから食べ物のアレルギーの原因物質が入り込むことで、免疫の異常が起き、食物アレルギーの発症につながる可能性が指摘されています。特に1歳までの赤ちゃんの湿疹は、しっかりとスキンケア・治療を行うことで食物アレルギーの発症を減らせる可能性が報告されています。



最後に

当院では、私（中村）が小児アレルギー学会に所属しており、総合アレルギー講習会などへの参加を通して、最新の知見や現在のスタンダードと考えられる治療や方向性を学び、共有することで、種子島でも島外と遜色のない医療が提供できるよう心がけております。日程や人数は限られますが、当院でも経口負荷試験を行っております。お子さんにアレルギーがあるご家族は大変なことが多いと思います。

お困りのことがあれば、小児科までご相談ください。



中村 達郎先生

やの なぎさ
 看護助手の**矢野 渚**です。
 出身地：中種子町
 趣味・特技：ショッピング
 精一杯頑張りますので、よろしくお願
 いします。



なかしま ともよ
 医事課の**中島 知代**です。
 出身地：鹿児島県
 趣味・特技：ベースを弾く、ダイビング
 笑顔で元気に頑張ります。
 出来れば忙しくても…



新入職員紹介

平成30年度 永年勤続者表彰



門脇輝尚さん(40年)

- | | |
|-----|-------------|
| 40年 | 門脇輝尚 |
| 35年 | 長瀬まゆみ |
| 30年 | 園田満治 |
| 25年 | 春村美智枝、山下ひとみ |
| 20年 | 小山田恵、平原景子 |
| | 埴琴美、金城まり子 |
| | 宮原和子 |
| 15年 | 沖吉絵里子、平山靖子 |
| | 早川亜津子、久田香澄 |
| | 山内良子、西川正樹 |

平成31年1月7日(月)、当セン
 ター全体朝礼において、16名の職
 員が永年勤続者として表彰されま
 した。これからも、健康には十分
 気をつけていただき、一年一年を
 大切に、皆で頑張っていきましょう。
 (リハビリテーション室 貴島知世)

県下一周駅伝に出場します！



第66回 鹿児島県下一周
 市郡対抗駅伝競走大会
 開会式 平成31年2月15日
 平成31年2月16日～2月20日
 今回、熊毛チームの選手として鹿児
 島県下一周駅伝に出場することにな
 りました。高校以来で、4回目の出
 場となります。
 今年から社会人となり、走る頻度
 も少なくなってきたなかでの出場と
 なります。まだまだ練習不足でベス
 トな仕上がりにありませんが、熊
 毛チーム、そして応援してくださる
 種子島医療センターの皆様のため
 に精一杯頑張って走りたいと思いま
 す。よろしく願います。
 (透析室 古市翔南)

外来担当医表

平成 31 年 2 月 1 日現在

診療科	診察時間	月	火	水	木	金	土
内科	9:00~12:30	島田/松本	島田/岡村 (祐)	高尾院長 島田/岡村 (貴)	高尾院長 松本/岡村 (貴)	島田/岡村 (貴) 内村/松本 (予約のみ)	会長/島田
	14:00~17:00			島田/岡村 (貴)		島田/内村	島田
循環器内科	9:00~12:30	田上理事長	田上理事長	北園 (第1・3・5) 代診 (第2・4)	※予約のみ※ 北園 (第1・3・5) 代診 (第2・4)	田上理事長 吉野	吉野
外科	9:00~12:30	濱之上	手術	濱之上/花園	濱之上	花園	濱之上/花園/大迫 (隔週交代)
	午後は手術により休診になることがあります。事前に受付へご確認ください。						
整形外科 (要予約)	9:00~12:30	高橋/伊集院	高橋または伊集院 鹿児島赤十字病院より	鹿児島大学より	高橋/伊集院 岡村 (祐)	高橋/伊集院 (岡村 祐)	
	要確認	手術	鹿児島赤十字病院より		手術	手術	
脳神経外科	9:00~12:30	盛満	盛満	盛満	盛満	鹿児島大学より (隔週・不定期) 鹿児島市立病院より (土・日 不定期)	
	14:00~17:00		第1火曜は休診		休診		
眼科	9:00~12:30	田上純真	田上純真	田上純真	田上純真	田上純真	田上純真 (コンタクト外来)
	14:00~17:00		手術		手術	手術	
小児科	9:00~12:30	岩元/中村/長濱	岩元/中村/長濱	岩元/中村/長濱	岩元/中村/長濱	岩元/中村/長濱	岩元/中村/長濱
	14:00~17:00	上記3名の医師の中から、2名の医師が診療を行います。月に2日代診日(土曜日)があります。					

午前の受付時間 ⇒ 11時30分まで。 午後の受付時間 ⇒ 16時まで。
手術等により診療時間や担当医師に変更の場合がありますのでご了承下さい。
医師不在にて、休診となる場合がありますのでご了承下さい。
医師異動の場合がありますのでご了承下さい。

専門外来日程表

平成 31 年 2 月 1 日現在

診療科	診療日	受診方法	医師派遣元
泌尿器科	毎週 月	予約なしでも可	鹿児島大学病院
	第1・3 火(午前)	要予約	
耳鼻咽喉科	毎週 火/水	予約なしでも可	鹿児島大学病院
皮膚科	毎週 水	予約なしでも可	鹿児島大学病院
腎臓内科	毎週 木	要予約	種子島医療センター
消化器内科	毎週 火/木 (午前)	要予約	種子島医療センター
呼吸器内科	毎週 水/土	要予約	鹿児島大学病院
糖尿病内科	第1・3 月	要予約	鹿児島大学病院
	第2・4 水/木		
神経内科	毎週 火	要予約	鹿児島大学病院
血液内科	月に2日 土(不定期)	要予約	いづろ今村病院
心療内科	第1・3 金/土	要予約	鹿児島大学病院
	第2・4 土		
循環器内科 (ペースメーカー)	第3 土(不定期)	要予約	鹿児島医療センター
肝臓内科	第1~4 土	要予約	鹿児島大学病院
禁煙外来	毎週 月(午後)	要予約	種子島医療センター
小児発達外来	毎週 水(午前)	要予約	種子島医療センター

診療日に変更がある場合もございますので、詳細は受付までお問い合わせ下さい。

第3回 医療安全推進に関する川柳



最優秀賞

KYT 危険をよろづて止めんばや

2階病棟 鮫島昇樹さん

優秀賞

ひと呼吸とどんな時でも 落ち着いて

3階東病棟 下江理沙さん

ホウレンソウ 安全を守る 愛言葉

3階東病棟 飯田ゆりえさん

佳作

わーもおいもよろーてやろや 指さし確認

医局 花園幸一さん

焦らず慌てず 手を抜かず

ルール遵守の医療安全

医事課 西川正樹さん

優秀賞

スリッパでスリッパに転び パキッと骨折

リハビリテーション室 早川亜津子さん

合つといかように見たとか 本当か

2階病棟 田中加奈さん



（編集部より）

2月に入りましたが、まだまだ寒い日々が続いております。皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。▼全国的にもインフルエンザが流行しています。手洗いとうがいでの励行、湿度の保持、十分な栄養と睡眠も忘れずに体調管理にはお気をつけ下さい。▼4月には、新天皇の即位、新元号の発表と、新たな時代の幕開けとなります。今年も取り組むように猪突猛進し、何事にも取り組んでいきたいと思っております。▼島民の皆様へ安心して医療を提供出来るよう、職員一同努めて参りますので、今年もどうぞ宜しくお願い致します。

（地域医療連携室 加世田 和博）

へいじろう記事募集のお知らせ

へいじろうでは、記事を募集しております。載せて欲しいという原稿や、書いてほしい記事の要望など、何でも結構ですので、編集部員まで御一報ください。

〈編集部員〉

当房紀人（リハビリテーション室）
貴島 知世（リハビリテーション室）
加世田 和博（地域医療連携室）
坂口 健（地域医療連携室）

誌名「へいじろう」の由来

種子島では飛魚のことを「とつぴー」と呼び、その小型のものは「へいじろう」と呼ばれています。

種子島医療センターでは、年報「飛魚」を年1回発行し、院外広報誌「へいじろう」を年4回発行しています。

社会医療法人義順顕彰会



種子島医療センター

理事長 田上 寛容

病院長 高尾 尊身

〒891-3101

鹿児島県西之表市西之表7463

TEL (代) 0997-22-0960

FAX (代) 0997-22-1313

E-mail: master@tanegashima-mc.jp

HP: http://www.tanegashima-mc.jp/

種子島医療センター 理念

島民の皆様へ愛され

信頼される病院

私たちは、思いやりの心と
技術を研鑽する真摯な姿勢で
豊かな地域医療の向上に努めます。